

各教育事務所の調査結果

上益城教育事務所

- 1 教科に関する調査結果と分析
 - (1) 小学校の成果と課題
 - (2) 中学校の成果と課題
- 2 質問紙調査結果と分析
 - (1) 児童・生徒質問紙調査結果
 - (2) 学校質問紙調査
 - (3) 質問紙調査に関する分析
- 3 今後の取組の重点事項

1 (1) 小学校の成果と課題

成果

国語 成果が見られた内容

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと【関連問題 1四(1)ウ】
- 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと【関連問題 1三】
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと【関連問題 2(1)】

算数 成果が見られた内容

- 示された除法の式の意味を理解すること【関連問題 3(4)】
- 図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成すること【関連問題 1(2)】
- 2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ること【関連問題 2(2)】

課題

国語 課題が見られた内容

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと【関連問題 1四(1)ア】
- 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすること【関連問題 3一】
- ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること【関連問題 3四】

算数 課題が見られた内容

- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること【関連問題 2(4)】
- 資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述すること【関連問題 2(3)】
- 場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断すること【関連問題 4(3)】

1 (2) 中学校の成果と課題

成 果

国語 成果が見られた内容

- 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと【関連問題 3二】
- 話合いの話題や方向を捉えること【関連問題 2一】

数学 成果が見られた内容

- 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること【関連問題 8(2)】
- 総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈すること【関連問題 9(3)】

英語 成果が見られた内容

- 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ること【関連問題 1(4)】
- 文の中で適切に接続詞を用いること【関連問題 9(1)②】

課 題

国語 課題が見られた内容

- 話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつこと【関連問題 2三】
- 相手に分かりやすく伝わる表現について理解すること【関連問題 2二】

数学 課題が見られた内容

- 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解すること【関連問題 7(1)】
- 与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えること【関連問題 9(1)】

英語 課題が見られた内容

- 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くこと【関連問題 9(3)②】
- 与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くこと【関連問題 9(3)③】

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
主体的・対話的で深い学び の視点からの授業改善	学級の友達と（生徒）の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	71.3	73.0	74.1	72.5	72.3	72.8
	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか	77.9	81.0	82.8	70.1	71.5	74.9
	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	58.6	64.4	65.7	53.9	58.0	61.5
	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか	70.1	72.4	74.0	70.9	71.3	71.6
	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか	72.0	72.9	73.4	67.8	63.5	65.6
	5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	75.3	76.5	77.7	69.4	70.1	74.8
	5年生まで（1,2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	58.6	59.0	62.5	42.8	47.3	55.8
学習習慣等	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	67.4	68.3	71.5	46.4	45.1	50.4
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）（1時間以上）	61.8	62.3	66.1	63.8	67.3	69.8
	読書は好きですか	71.6	74.1	75.0	63.9	64.2	68.0

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
地域や社会に関する状況	今住んでいる地域の行事に参加していますか	70.8	71.9	68.0	55.2	48.6	50.6
	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	65.5	68.1	68.6	58.4	60.3	62.4
	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	77.5	76.0	76.1	59.6	59.7	59.3
基本的な生活習慣等	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	74.5	79.7	81.4	76.6	77.1	78.0
	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	69.0	74.9	77.4	71.5	74.6	76.4
規範意識、挑戦心、自己有用感等	自分には、よいところがあると思いますか	75.3	80.4	81.2	71.2	72.5	74.1
	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	81.2	86.4	86.1	81.8	82.3	81.5
	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	92.9	93.2	91.7	82.7	83.0	84.6
	将来の夢や目標を持っていますか	81.9	84.7	83.8	70.4	70.5	70.5
	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	75.3	77.9	79.0	64.5	66.8	70.3
	学校に行くのは楽しいと思いますか	87.8	89.5	85.8	84.3	85.3	81.9
	人が困っているときは、進んで助けていますか	86.3	87.5	87.9	87.2	84.1	85.9
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.4	97.4	97.1	96.4	95.9	95.1
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.0	95.7	95.2	95.5	95.2	94.3

2 (2) 学校質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
カリキュラム・マネジメント	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	100	97.0	95.1	75.0	90.9	91.3
	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	95.7	95.0	95.4	100	95.8	93.4
	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	95.7	93.2	96.4	87.5	90.3	86.9
	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	98.5	95.3	100	96.9	93.7
主体的・対話的で深い学びの観点からの授業改善	調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	87.0	86.1	85.5	100	83.0	82.6
	調査対象学年の児童生徒に対して、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	78.3	91.5	89.3	87.5	83.0	89.1
	調査対象学年の児童生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか	91.3	94.7	94.5	100	93.3	93.2
	調査対象学年の児童生徒に対して、特別の教科 道徳において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導を工夫していますか	91.3	97.6	96.7	100	98.1	92.6
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	91.3	91.2	89.3	87.5	86.0	88.0
家庭学習	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(教科共通)	87.0	91.5	92.2	87.5	88.5	87.0
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(教科共通)	100	97.4	95.5	100	93.3	92.3

2 (2) 学校質問紙調査結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
自己挑戦心、達成感、規範意識、有用感等	調査対象学年の児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	91.3	92.6	91.1	75.0	82.4	89.3
	調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	87.0	88.0	87.7	75.0	89.7	94.1
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	69.6	88.8	83.2	100	98.1	98.6
	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童生徒に対する授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	95.7	97.9	95.1	100	95.2	92.6
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか	95.7	98.6	98.8	100	98.2	98.6
教職員の資質能力の向上	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	100	99.7	99.3	100	99.4	98.6
	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか（「1.ほぼ毎日」の割合）	78.3	80.9	71.8	62.5	53.9	48.8
小中連携	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	69.6	66.4	65.0	62.5	77.0	68.0
	平成30年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか	73.9	58.9	60.6	75.0	61.8	60.0
その他	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	95.7	86.8	89.6	100	85.4	86.4
	平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	87.0	90.6	91.2	75.0	84.3	87.5

2 (3) 質問紙調査に関する分析

【児童・生徒質問紙から】

- 「学習習慣」の項目では、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」で、昨年度と比較し改善傾向にある。しかし、小・中学校ともに全国と比べると依然として下回っており、今後も継続的な取組が必要である。
- 「国語の勉強は好きですか」について肯定的な回答の割合が、特に小学校で低い。「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか」や「学習習慣」の「読書は好きですか」等の項目と関連付けた対策が必要と考える。
- 「自己有用感等」の項目が、特に小学校で低くなっており、児童生徒を認める声掛けや家庭との連携、継続した心のケアに取り組んでいく必要がある。

【学校質問紙調査結果から】

- 全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有している学校や教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校が多い。
- 総合的な学習の時間における探究の過程を意識した指導や学校の教育目標を踏まえた教科等横断的な視点による教育内容の配列等、今後学校総体としての取組が必要となる。

3 今後の取組の重点事項

重点事項① 各種研修会の工夫

- ・「学力向上に向けた取組」というテーマで、自校の実践をポスターセッション形式で交流する。（10月 教頭等研修会）
- ・学力向上の取組について、好事例を紹介するとともに、自校の課題分析方法や課題解決の方策について協議を行う。（10月 教務主任研修会）

重点事項② 町教育委員会、郡教育長会・校長会等との連携

- ・教育対策会議（学力向上に向けた提言等の取扱）（3回／年）
- ・町学校教育指導員等との連絡会（3回／年）
- ・中学校区「学力向上」研究指定事業（本年度2地域研究発表）
- ・総合的な学習の時間において、学校教育目標との関連を図り、育てたい資質能力を明確にしたカリキュラムマネジメントづくり

重点事項③ 学力向上支援事業の推進

- ・各校のミドルリーダー72名を対象とした授業参観指導（1人3回／年）
- ・経験が短い職員を対象とした授業参観指導によるキャリアアップサポート（1人3回／年）
- ・管内好事例の紹介等に基づく学力向上サポート